



平成 27 年 10 月 30 日

各 位

会 社 名 アイピーシー株式会社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 加 藤 裕 之  
(コード番号：3920 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 経 営 管 理 部 長 吉 田 知 史  
( TEL. 03 - 5117 - 2780 )

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 10 月 30 日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、平成 27 年 9 月 15 日付「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表した、平成 27 年 9 月期（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 1. 平成 27 年 9 月期通期業績予想数値の修正（平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 975	百万円 266	百万円 233	百万円 150	円 銭 151.39
今回修正予想（B）	977	319	301	182	184.16
増 減 額（B－A）	1	53	68	32	
増 減 率（％）	0.2	20.1	29.4	21.8	
（参考）前期実績 （平成 26 年 9 月期）	807	216	223	133	146.34

（注）1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式総数により算出しております。

2. 平成 27 年 5 月 28 日付で、株式 1 株につき 500 株の株式分割を行っております。上記では、平成 26 年 9 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益金額を算出しております。

#### 2. 業績予想の前提条件

当社の属する情報サービス業界では、仮想化やクラウドコンピューティング、ビッグデータ活用、IoT などの新たな技術の採用に注目が集まり、コンピューターネットワークシステムは、益々多様化し複雑化しております。それ故、提供するサービスの遅延や停止が起こると復旧に多くの時間とコストがかかり、社会活動の大きな妨げや企業活動の機会損失となっております。

このような環境の中、ブラックボックス化したコンピューターネットワークシステムの安定稼働促進や無駄のない投資ニーズは高まっており、当社ではパートナー企業との連携を強化し、大手企業を中心に積極的な営業展開を図ることを前提として平成 27 年 9 月期の業績予想を策定して前回発表しておりましたが、今回の業績予想の修正に際し前提となる環境認識に変更はございません。

なお、当社の売上高は、当社製品 System Answer G2 シリーズに係る「ライセンスの販売」、当社製品の導入支援やネットワークシステム構築に係るコンサルティング等の「サービスの提供」、「その他物販（他社製情報通信機器等の販売）」で構成しております。

### 3. 修正の理由

平成 27 年 9 月期の売上高につきましては、パートナー企業との連携強化策の推進や契約更新の促進等の効果によって受注が堅調に推移した結果、概ね当初計画通り着地する見込みであります。なお、「ライセンスの販売」は 801 百万円（前期比 20.6%増）、「サービスの提供」は 119 百万円（前期比 56.7%増）となる見込みであります。

売上総利益につきましては、「ライセンスの販売」に係る利益率が当初見通しを上回る見込みであることに加え、「サービスの提供」に係る労務費が当初見通しを下回る見込みであること等により利益率が当初見通しを上回り、その結果売上総利益が増加する見込みであります。

営業利益につきましては、販売費及び一般管理費が概ね当初計画通りに推移していましたが、売上総利益が当初見通しを上回る見込みであること等により 319 百万円となり、前回発表から 53 百万円増加する見込みであります。

経常利益につきましては、営業利益の増加に加え、第 4 四半期に計上した上場関連費用が当初見通しを下回る見込みであること等により 301 百万円となり、前回発表から 68 百万円増加する見込みであります。

当期純利益につきましては、上記各段階利益の増加等により 182 百万円となり、前回発表から 32 百万円増加する見込みであります。

※ 業績予想につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上